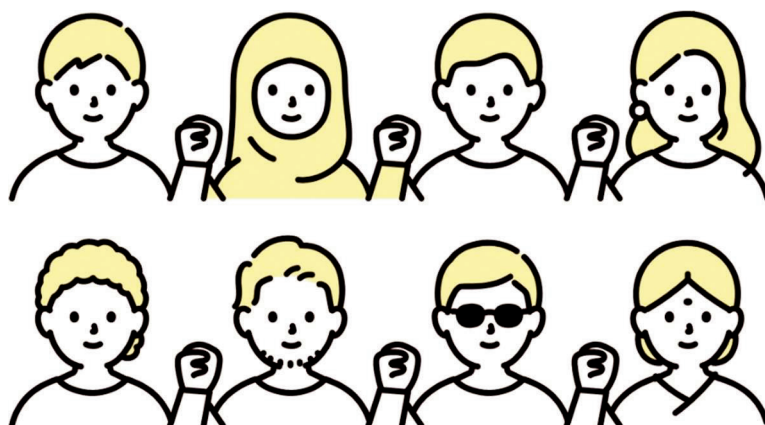


活動の紹介

市民活動団体



特定非営利活動法人 愛未来

企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

NPO 法人愛未来は、スリランカとパラオとの友好交流と女性の働く場づくり等の支援活動に取り組んで 25 年になります。

県内の活動としては、SDGs の実践活動としてフェアトレードの普及推進に取り組み、開発途上国の貧困対策などフェアな社会の実現を願い、佐賀県がフェアトレードタウンになることをめざしています。

また、スリランカの本場のスパイスを使い、スリランカ人の講師によるスリランカカレー料理教室を開催し、その中でスリランカと日本のかかわりを知ることなどを通して、国際交流とともに多文化共生社会の実現をめざしています。



地域等と協力して行いたい活動

「フェアトレードタウン」とは、市民、行政、企業、小売店、学校など、街全体でフェアトレードを応援する県、市町村などの自治体のことです。

フェアトレードタウンでは、地域みんなが一体となりフェアトレード製品を積極的に購入、販売し、啓発イベントを開催するなど、フェアトレードを広める活動を積極的に行います。

「佐賀県をフェアトレードタウンに！」という取り組みに賛同していただき、地域一体でフェアな社会の実現をめざします。ご支援ご協力をよろしくお願いします。



佐賀県で初めて開催した『フェアトレードフェスタ』
(2022 年 11 月 6 日 どんどんの森ふれあい広場)

連絡先



特定非営利活動法人愛未来 理事長 竹下敦子

849-0204 佐賀市久保田町大字久保田 86 番地 1

TEL : 0952-68-4162

E-mail : npo.aimirai@gmail.com

URL : <https://aimirai.jimdo.com>



愛未来の
YouTube
チャンネル



NPO法人おせっかい工房咲風里

企業やNPO等の得意なこと（活動内容など）

「おせっかい工房 咲風里（さぶり）」では、こころの健康に問題がある人、こころの健康に関心がある成人を対象に、個人の心理・社会面を捉えたトータルな支援を目指しています。

この2年間のコロナの影響を振り返ってみると、今まで考えもしなかったような生活や働き方が求められるようになりました。私たちの取り巻く環境は常に大きく変化し、先を予測できないことが次々と起こる時代になっています。このような環境の変化に対応しストレスを感じた場合でも、上手にストレスに対処する力が必要とされています。

「少しでもあなたの負担を軽くする、ライフスタイル法」の内容については、令和4年度佐賀銀行社会福祉基金の助成いただき冊子を作成しました。ご興味のある方は、お気軽にお申し出ください



市民活動団体

地域等と協力して行いたい活動

企画1



奇数月の第3火曜日
13:00～16:00

偶数月の第4金曜日
18:00～21:00

佐賀商エビル市民活動プラザ
貸会議室

気持ちを誰かに話すだけで、
心理的ストレスは軽減されます。

話す効果

モヤモヤとした「不安」などは、毎日の生活につきもの。

不安な気持ちがあっても、人と語り合うことで次第に気持ちがスッキリし、楽になります。そうしながら、何かしらの困りごととも解決の糸口が見つかるかもしれません。

企画2

「訪問型対面相談会」

令和4年11月12日（土）
佐賀市「市民活動プラザフェスタ」では、セルフケアをご紹介します。

あなたのこころの健康度がわかるセルフチェック



マインドフルネス体験

禅やヨガから宗教的な要素を取り除き、誰でも気軽にできます。

自分自身で呼吸の動きを観察するマインドフルネス呼吸法等。



企画3



令和5年1月15日（日）
14:30～17:00
ゆめぷらっと小城

「話をきくとは...」どうすることか。カウンセリングの基礎学習です。

講師：清原 浩（臨床心理士・鹿児島大学名誉教授・鹿児島メンタルサポート研究所所長）

企画1～企画3は、最後に令和4年度佐賀県地域自殺対策強化事業（民間団体補助）によって実施しています。

連絡先



お問い合わせ／NPO法人 おせっかい工房 咲風里（さぶり）

TEL 080-3373-0077 FAX 0942-55-4664 メール sapuri-kouza@outlook.jp

URL <http://np0-sapuri.com> <https://www.facebook.com/np0.sapuri>



がん患者さんにウィッグと帽子を提供する会

企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

私たちは、「がん患者さんにウィッグと帽子を提供する会」という名前の通り、がん患者さんのアピランス支援を行っている団体になります。

主な活動内容としましては、がん患者さんの外見変容についての相談や患者さんへウィッグや帽子の提供、ヘアドネーション・中古ウィッグの受付と一緒に支援して下さる方の美粧サポーターの育成など、頭髮に伴う外見の変化を身体的・精神的にサポートしています。

また、もう一つのがん患者さんへの支援策として、当理事長が婚礼美容や日本の伝統文化である着物を多く所有していたこともあり、目に見えない価値のある着物を身近において楽しんでもらうため、額の中に着物を入れた KIMONOART をつくっています。その KIMONOART を買っていただくことで、がん患者さんへ医療用帽子や、高価なウィッグの提供資金になります。支援とはいいますが、KIMONOART を日本的な美術品として楽しんでもらうのも目的です。



地域等と協力して行いたい活動

美粧サポーター育成

美粧とは「美容」と「化粧」を合わせた言葉のことで、どちらにも美しく容姿を整える意味合いがありますが、がん患者さんの外見や心理面をサポートする仲間を募集しています。

身近で抗がん剤治療の副作用に伴う脱毛時のサポート（ウィッグや帽子、脱毛時後のアドバイス）が一人でもたくさんの方ができるように、育成していきます。



ヘアドネーション・中古ウィッグのご寄付

ウィッグはやはり人毛が一番質感がよく、人口毛とミックスになっていても自然に見えます。患者さんのためにヘアドネーションのご協力をお願いします。また、家庭に眠る中古のウィッグを次の必要な患者さんのためにご寄付のご協力よろしくお願いします。

連絡先 がん患者さんにウィッグと帽子を提供する会 担当：小松
携帯 090-9488-7261

特定非営利活動法人日本防災士会佐賀県支部

佐賀県防災士会

企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

●防災士とは

・防災士とは自助・共助・協働を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を習得したことを、日本防災士機構が認めた人。

・平成 22 年佐賀県防災士会設立

●得意な活動内容

・平常時の活動⇒防災講演会、自主防災活動支援（防災情報活用方法、災害時トイレ、AED 体験、応急手当方法、非常食の種類・調理、非常持出袋、車中泊の方法など）

・災害時活動⇒応急対応、被害軽減

・災害発生後の活動⇒被災地支援、被災地復興（ボランティア活動）



防災講演会



AED 救命体験



令和 3 年 8 月豪雨ボランティア活動

地域等と協力して行いたい活動

・地方自治体と連携した防災啓発活動（佐賀県や県内市町との連携）

活動例：2022 防災フェスタ・治水シンポジウム in 武雄、アバンセ「まなびいフェスタ」など

・防災機関との連携（佐賀地方気象台、武雄河川事務所、社会福祉協議会など）

活動例：防災気象講演会、災害時ボランティア活動、各種防災イベントなど

・公民館やまちづくり協議会、自主防災会と連携した防災啓発

活動例：日新校区防災教室、武雄市橘町防災講演会、伊万里駒鳴の里防災キャンプなど

・報道機関との連携（佐賀県内報道機関）

活動例：NHK 佐賀放送局と「減災・防災の取組推進に向けた連携協力に関する協定」



小城市との連携



武雄市との連携



NHK 佐賀放送局との協定



公民館の防災講座

連絡先

佐賀県防災士会事務局

〒840-0852 佐賀県佐賀市中折 1-21

E-mail : michi21@uma.bbiq.jp

佐賀市観光ボランティアガイド

企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

佐賀市観光ボランティアガイドは、佐賀城下ひなまつりのボランティアガイドとして 2002 年度から始まりました。2009 年にボランティア組織を立ち上げ活動を行っています。

毎年開催される「佐賀城下ひなまつり」と年間を通して歴史民俗館や賢人コース、神社めぐりコースなど 6 コースをご案内しております。

2019 年から 11 月の創立記念日に合わせて「ともに歩こうさがん町」と題して、佐賀市民対象で町歩きも行っています。

毎月 1 回の定例会では活動報告や活動計画を話し合います。その中で、ガイドコースを歩いてみる勉強会や県内を中心とした現地研修会へ全員参加を目指して出かけていき、共通理解を図りながら学び、「チーム観ボラ」として連携を深めています。

また、日頃の感謝を込めて佐賀市歴史民俗館周辺の清掃活動も行っています。



地域等と協力して行いたい活動

地域の研修や県外からのお客様などのおもてなしに連携することで佐賀のことをより知っていただき佐賀の認識を深めていただけるのではないかと考えます。

それぞれ違う分野の団体との連携で魅力的な佐賀になることは全体の向上に繋がると思います。ぜひ、ともに歩きましょう。

そして、「佐賀はな～んもなか」から脱出して、みんなで佐賀の魅力の向上を目指しましょう。
会員も随時募集しています。



連絡先

一般社団法人 佐賀市観光協会 担当：川崎
〒840-0801 佐賀市駅前中央 1 丁目 4 番 17 号
コムボックス佐賀駅前 1 階 SAGAMADO 店
☎ 0952-37-7489
Mail info@sagabai.com

佐賀市国際交流協会

企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

佐賀市国際交流協会は、平成3年（1991年）に設立されました。

その目的は、佐賀市及び民間団体と連携をとりながら、市民の国際認識を高め、世界に開かれたまちづくりに寄与することを目的としています。

当団体の活動は、佐賀市在住外国人のための言語保障としての「初級日本語集中講座」、同一テーマで多様な考えを共有する「パネルディスカッション」、母国の家庭料理を学ぶ「国際家庭料理講座」、母国との子育て違いからくる悩みや学校生活での悩みを聴く「聞かせてよ！おかあさん」などを開催しています。在住外国人や市民の方々が気軽に参加でき、交流を深めることができる場の提供に心がけています。みなさん、ぜひ、協会のイベントにご参加ください。



◆「初級日本語集中講座」



◆ 国際理解講座



◆わくわく家庭料理講座



◆「聞かせてよ！お母さん！」

地域等と協力して行いたい活動

～「つながる」「つどう」「つたえる」～

地域に住む外国人の方々との国際理解、「共生」について気軽にお声かけください。

みなさんと「共に考え」「共に活動」し、いろいろな形での「共生」を考えていきたいと思います。

さまざまな事業を開催しておりますので、ご参加されてはいかがでしょうか。



事務局

佐賀市国際交流協会 会長 吉野徳親 連絡先 0952-29-0322
住所：佐賀市駅前中央1丁目8-32 アイスクエアビル1階



特定非営利活動法人

シニア情報生活アドバイザー佐賀

企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

情報化に遅れがちなシニア世代が、パソコンやインターネットを利用して、より楽しくて活動的な生活が送れるようにサポートをしています。

◎ 活動内容

1. 経済産業省の外郭団体「ニューメディア開発協会」認定の「シニア情報生活アドバイザー」の養成団体で養成講座をおこなっています。
2. パソコン教室 ・ 佐賀市民活動プラザ ・ 嬉野市塩田公民館
3. 佐賀県警よりサイバー犯罪防止ボランティアの委嘱を受け、佐賀県内各地の公民館や老人クラブでサイバー犯罪防止セミナーを開催
4. 佐賀県高度情報化推進協議会の助成を受けて佐賀県各地で高齢者初心者むけに「ICT 困りごと相談会」を開催
5. 佐賀県内各地の公民館等からの要請でパソコン・スマホ・ipad の講習会講師
6. 当会ではスマホ・パソコン端末・講習用の機材を所有し、10 名以上のグループからの講習会の依頼に応じられる。

地域等と協力して行いたい活動

デジタル活用支援推進の講座の講師としてお手伝い



代表者

特定非営利活動法人 シニア情報生活アドバイザー佐賀 代表 久野美津代

連絡先

住所：佐賀市白山2丁目 2-12 佐賀商エビル7階 市民活動プラザ内レターケースNo.13

TEL：080-8582-2946 E-mail：nadesiko23@gmail.com

NPO法人 消費生活相談員の会さが

企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

消費者の立場から消費生活に関する様々な相談に応じ、情報を収集、整理して提供し、消費者の救済、消費者啓発及び地域安全に努め、それらを通じて県民・市民のくらしの安定・向上に役立つ社会的使命を果たします。また、消費生活相談員を目指す方のために、消費生活相談員資格取得支援講座を開催しています。

当会は佐賀県消費生活センターをはじめ県内市町の消費生活センターや相談窓口の相談員、消費生活相談員（国家資格）、消費生活専門相談員、消費生活アドバイザーで構成されています。地域の安全に寄与し消費者の保護を図る活動を行っている NPO 法人です。正会員は現在約 50 名で、県内の消費生活相談窓口の相談員は全員当会の会員です。そのネットワークを活かし、消費者問題の専門家集団として行政と対等な立場での協働事業に取り組んでいます。平成 23 年度には、消費者庁の消費者支援功労者「ベスト消費者サポーター章」を団体として受章しました。また、平成 30 年度には「佐賀さ いこう表彰〔協働部門〕」を受賞しました。



地域等と協力して行いたい活動

☆くらしに役立つ消費生活講座

「ネット社会の基本のき 最近のトラブル事例を知り未然に防ごう」開催

IT の専門家を講師に迎え、あらゆる年代に向けたネットトラブルへの対策と対処法を学ぶ講座を開催

☆チカラット事業

SDGs をテーマに、フェアトレードやフードロスの映画上映会や講演会を開催、地球規模で深刻化している問題について学ぶ機会を作る

☆佐賀市消費者フェア展示会出展

消費生活に関する知識の啓発

☆出前講座の実施

あらゆる消費者問題をテーマに、子育て世代から高齢者を対象に無料で講師を派遣しています



連絡先

NPO 法人 消費生活相談員の会さが

〒840-0815 佐賀市天神 3-2-11 アバンセ 3 階

電話・Fax 0952-97-7423

E メール shohisaga@bz01.plala.or.jp

ホームページ <https://shohisaga.jimdo.com/>

Togatherland SAGA (トゥギャザーランド さが)

大学・企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

一般社団法人 Togather land は、障害があってもなくても自分にぴったりの働き方を見つけられる社会を作るために活動しています。2018 年 4 月に 2 つの活動を源流に設立されました。1 つは、代表理事の田中美佳が発達障害・自閉症児とその家族に居場所づくりとして取り組んできた「おもちゃばこ」。もう一つは 2017 年度九州大学の産学連携セミナー「地域政策デザイナー養成講座」の発達障害者の就労をテーマとしたチーム。両者の思いが 1 つになり、障害の有無に関わらず全ての人が幸せに働き心豊かに生きる社会を目指しています。

Togatherland SAGA は 2021 年に佐賀在住のメンバーで発足。

2022 年はライブアートとの共演でアクセシビリティ装備をしたバリアフリーコンサートを開催しました。

見る角度を少し変えることで、見える世界も大きく変わる。未来も変わる。

そのカギを持っているのは「違い」です。違っていることは新しい世界への窓口、違っていることこそが価値があると私たちは考えています。



地域等と協力して行いたい活動

Togatherland SAGA は 3 つの事業を軸として活動しています。

1、企業向け参加型の障がい者雇用セミナーの開催

参加型だからできるより実践的な取り組みで雇用する側とされる側の相乗共創を目指します。

2、障がい者も、そうでない人も一緒に働く場づくりや商品開発

オリジナルつみき“トコトコつみき”を開発、商品化しました。
困りごとに対しての新しい働き方と実践を提案します。



みえないトコトコがよいところ

3、多様性を活かし合うための集うイベントの企画と主催

障がいがあっても無くても一緒に自然と集う場づくりをします。

「知り」合うことが多様な社会への第一歩として、相互理解の機会を作ります。

 Togatherland

連絡先

✉ togatherland3saga@gmail.com

特定非営利活動法人フードバンクさが

企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

・フードバンク事業

無償でいただいた、食品や日用品をこども食堂や福祉施設など通じて必要とされている方々に無償で提供しています。

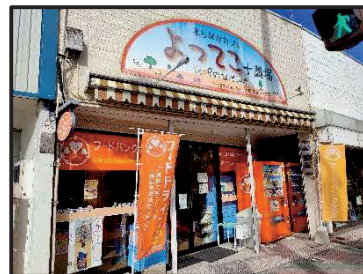
2021 年度は 123 団体に 45,320kg を提供しました。

・食品ロス削減啓発活動

食品ロス削減のみならず、SDGs、環境啓発等のイベントに参加・出展しています。

小売店や施設のフードドライブ（食品寄付イベント）を実施しています。

・食育と農業を組み合わせたプロジェクトも実施中。富士町の畑をお借りして野菜を栽培し、収穫物をこども食堂などに提供しています。食の大切さ・食への感謝の気持ちを育むための実践的な食育活動です。



地域等と協力して行いたい活動

地域の皆さんに支えられ、また地域の食支援活動を支えていきたいと考えています。

・家庭の未利用食品の活用へのご協力

食品寄贈あつてのフードバンクです。地域の家庭からいただくことで、より幅広い食品を提供することが出来ます。フードバンクさが事務所だけでなく様々な場所でフードドライブ（食品寄付活動）を受け付けています。

・地域のこども食堂等の立ち上げ時の協働

地域で食支援活動を始める際にはぜひご相談ください。食支援は継続が期待されますし、食品の取り扱いには思ったよりも手間がかかります。規模や頻度など一緒に考えていきましょう。

・「食育と農業」を広げていくために地域の皆さんと共に取り組みたい

食品ロスの活用が第一ではありますが、食の大切さを伝えること、さらに「栄養の貧困」への対策として農業にも取り組んでいきます。皆様のご協力で生産現場から広げていきましょう。



連絡先

特定非営利活動法人フードバンクさが

〒840-0813 佐賀県佐賀市唐人一丁目1番14号 よってこ十間堀

Tel : 0952-37-1300 Mail:tsunagu@fb-saga.org

〇〇な障がい者の会

企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

〇〇（まるまる）な障がい者の会は、「誰もが暮らしやすい街佐賀を目指して」をスローガンに、ハードとハートのバリアフリー社会の実現に向けて、障がいのある立場からの情報発信（障がい者情報発信番組「エイブル・オン・ラジオ」の放送、さがすたいのりporter活動、小中学校などでの講演活動）や、障がいのある方の外出促進（ノンステップバスの利用促進、障がいのある方を対象としたイベントの企画）などに取り組んでいる市民活動団体です。

みんなが笑顔で安心して生活が出来る社会を作っていくためには、段差を無くすなどのハードのバリアフリーはもちろん大切なことですが、ハードのバリアフリーにはお金や時間を必要とするなどの課題もあるため、ハードのバリアフリーと合わせて一人ひとりの優しさで困りごとを解決していくハートのバリアフリーの推進が大切であると考えています。

そのため、〇〇な障がい者の会では、ハートのバリアフリーの輪を広げていくため、学校や地域でのふれあいを通して、一人ひとりの違いを認め合い、そして支え合っていくことの大切さを伝えていき、佐賀の街でたくさんの笑顔の花を咲かせていきたいと思いながら活動を行っています。



地域等と協力して行いたい活動

① 講演活動

「ハードとハートのバリアフリー社会」「いのちの大切さ」「SDGs × UD」「みんなちがって みんないい」など目的や対象者に合わせて講演させていただきます。

障がいのある当事者の目線から飾らない当事者の言葉で一言一言にたくさんの想いを乗せながら講演させていただきますので、学校や地域の団体などでぜひ機会をいただければ幸いです。



② バルーンアートをプレゼントする活動

ハートのバリアフリー社会を実現するためには人と人とがふれあっていくことが大切であると考え、子どもたちとのふれあいの場をつくるためバルーンアートをプレゼントする活動を行っています。

プロのパフォーマーのような技術はありませんが、交流の時間を大切にしながら小さな身体で大きな夢や希望を届けていきたいと思っておりますので、地域の行事などでぜひ機会をいただければ幸いです。



連絡先

〇〇な障がい者の会 会長 内田 勝也

電話：080-6438-3407

Mail: able_on_radio@yahoo.co.jp

特定非営利活動法人佐賀県 CSO 推進機構

佐賀市市民活動プラザ指定管理者

企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

～自立した CSO・行政・企業がつながり、ささえあう佐賀づくり～

佐賀県 CSO 推進機構は、佐賀県全域を対象とした中間支援組織の必要性により、県内 10 ヶ所から代表を出して設立した団体です。現在、佐賀市内の市民活動の拠点である佐賀市市民活動プラザ指定管理者として貸館業務、市民活動情報の提供、CSO（市民社会組織※）を対象とした相談支援、研修・講座、交流会の企画運営を行っています。

また、佐賀市内のみならず県域の公益に資するため、佐賀県庁新行政棟 1 階「行政の窓口」（県民総合相談・情報提供窓口）の運営委託業務、みやき町健康づくり支援事業、佐賀県診療情報地域連携システム推進事業サポート業務等を実施しています。

※CSO の例：NPO 法人、市民活動団体、まちづくり協議会、子ども会、老人会、PTA など

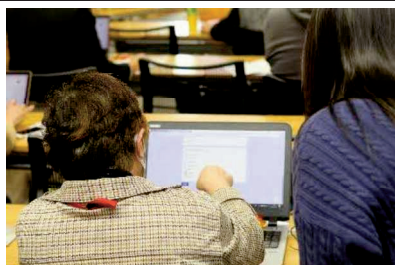


地域等と協力して行いたい活動

～多くの人とつながって活動をつづけるために～

コロナ禍によって縮小した市民活動・地域活動の再活性化ならびに多様な世代に活動の間口を広げ参画しやすい活動環境づくりを目的に、2020 年より IT 活用やデジタル化による新たな活動様式獲得および定着のための支援活動を行っています。

支援の例：活用のための講習会開催、オンライン開催・ライブ配信の出張支援、環境整備の相談、活用事例の紹介



「活動をはじめたい」、「活動で困っている」、「IT を活用したい」など、お気軽にご相談ください▼

連絡先①

特定非営利活動法人 佐賀県 CSO 推進機構
（代表理事：野口 淳子）
佐賀市呉服元町 2-24 呉服元町ビル 10 号
TEL：080-4282-8061（専用携帯：岡野）
FAX：0952-26-2227
E-mail：cso.sprt@min-nano.org
ホームページのアクセスリンク▶



連絡先②

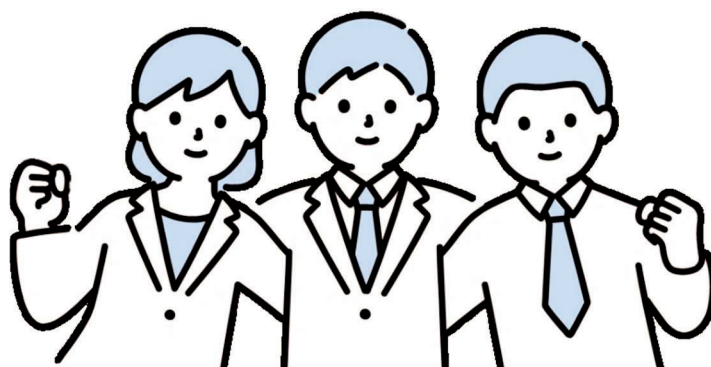
佐賀市市民活動プラザ
（プラザ長：秋山 翔太郎）
佐賀市白山二丁目 1-12 佐賀商工ビル 7 階
TEL：0952-40-2002
FAX：0952-40-2011
E-mail：plaza@tsunasaga.jp
ホームページのアクセスリンク▶



活動の紹介

企業

企
業



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

当社は、ステークホルダーと当社双方にとって重要度が高い社会・地域課題の解決を目指し、3つのサステナビリティ重点取組項目を設定しています。社員一人ひとりが地域・社会の課題に自分ごととして取り組み、お客さま、代理店、取引先をはじめとする全てのステークホルダーの皆さまとともに **CSV×DX** を加速させ、「社会のサステナビリティ」と「当社の持続的成長」の同時実現を目指し、取り組みを推進しています。

① 健やかな地球環境を未来につなぐ ～PlanetaryHealth～

気候変動への対応や自然資本の持続性向上（生物多様性の保全）等に取り組めます。

② レジリエントな社会の実現へ貢献する ～Resilience～

産業構造の変化に伴う新たなリスクの発現や、防災・減災力の強化、地方創生の推進に取り組めます。

③ すべての人の幸福と自分らしい生き方を支える ～Well-being～

少子高齢化の進行や人権デューデリジェンス、地域共生社会の実現に向けて取り組みを推進します。



地域等と協力して行いたい活動

● 日々の営業活動、各種イベントやセミナーを通じて、地域の皆さまと共同で、課題解決に取り組めます。

→①テレマティクス自動車保険の普及啓発による

交通事故発生件数の削減

②地域単位での防災セミナーの開催や

リアルタイム被害予測アプリ「cmap」の無償提供

③企業向け SDGs 経営支援やカーボンニュートラル推進支援

④企業・団体向けサイバーセキュリティ対策支援

⑤各種団体への寄付活動



連絡先

佐賀支店 地域戦略室 担当／嶋岡（シマオカ）

TEL:0952-31-6065 携帯:080-1394-0777

E-mail:yasuhiko-shimaoka@aioinissaydowa.co.jp

九電グループ



企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

九電グループは、地域とスクラムを組み、真に豊かな社会とは何かを考え、行動します。快適で豊かな地域・社会の実現と、その持続的な発展を目指す「良き企業市民」として、地域・社会との共生活動を行っています。

●地域の皆さまと一緒にやる協働ボランティア「こらぼらQでん」

地域の課題に対して、地域の皆さまと一緒にボランティアの力で解決していく協働プログラム「こらぼらQでん」に取り組んでいます。

●地域行事へのボランティア参加やブース出展

行政や地域が主催するイベントや清掃活動等にボランティアとしてお手伝いしているほか、子ども向けのブース出展等でもご協力しています。

●出前授業や出前講座

小中学校へ訪問し電気のしくみなどの出前授業を行っているほか、公民館等で省エネや節電などをテーマとした出前講座を行っています。



鯨の門清掃

地域等と協力して行いたい活動

佐賀市と九州電力(株)佐賀支店は、SDGs・カーボンニュートラルの達成に向けた協働による

取組みを通じて、人づくり、地域づくりに努め、佐賀市における持続可能なまちづくりを推進するため、2022年3月26日に「**持続可能なまちづくりに関する連携協定**」を締結しました。

この連携協定に基づいて、佐賀市との協議を進めています。地域の皆さまとも、地域だけ、行政だけ、企業だけでは解決できないことを、お互いの強みを活かして協力しあえる活動に力を入れています。

私たちの“強み”は「九電グループ」の経営資源を活用した“地域の課題解決”です。九電グループの幅広い事業運営体制を活用し、地域の皆さまの課題解決のお役に立って行きたいと考えています。



ふるさと美化活動への参加

連絡先

九州電力株式会社 佐賀支店 企画・総務部 地域共創グループ

〒840-0804 佐賀市神野二丁目3番6号 TEL: 0952-33-1257 (直通) FAX: 0952-33-1207

株式会社佐賀古湯キャンプ

大学・企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

（株）佐賀古湯キャンプが運営する「SAGA FURUYU CAMP」は元小学校をリノベーションした団体利用のできる宿泊施設です。主には人工芝グラウンドや体育館を利用したスポーツ合宿での利用が多く、そのほかにも吹奏楽等の音楽合宿や団体の研修合宿で利用されています。

仕事の場所としても利用されています。5部屋あるサテライトオフィスやカフェスペースでは、お仕事やオンライン配信などで活用されています。

館内は FreeWiFi を完備しており、自然豊かな環境の中で集中して活動できます。

1F カフェは地元の食材を使用したスムージーやお弁当を提供しています。（週末のみ営業）



地域等と協力して行いたい活動

「SAGA FURUYU CAMP」は地域交流拠点としての役割もあり、地域の活動やイベント開催の場所として活用されています。

地域の方々が主催する様々なイベント会場として学校跡の敷地を提供しています。また必要に応じて弊社のスタッフが運営に参加してお手伝いすることもあります。

最近では令和4年8月に富士町内の小学生の宿泊交流会を開催し、地域の方の講話を聞いたり、BBQをしたり、映画鑑賞をしながら富士町内小学生の交流を深める活動をしました。また、令和4年9月には地域の方々と協働で「古湯温泉・秋の彩フェスタ」を開催しました。バルーン係留、夜間コンサート、アウトドアイベント、川遊び、火起こし体験、マルシェ開催など盛りだくさんの内容で多くの方に楽しんでいただきました。

まちづくり協議会や子ども会等の活動で野外活動や体験する活動を行う場所として、SAGA FURUYU CAMP のフィールドを活用していただければと思います。



連絡先

〒840-0501 佐賀市富士町大字古湯 898 TEL0952-51-8835 FAX0952-81-8845

(株)佐賀古湯キャンプ 施設統括マネージャー 山田泰嗣

生活エネルギーTAJIMA 田島株式会社

企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

TAJIMA は LP ガスの販売や水廻りのリフォームまた住宅のリノベーションなど手掛けており、近年では不動産業もスタートし、住まい・暮らしに関してワンストップのサービスを提供させていただいております。不動産業を通じて個人のお客様との接点が増えるとともに遭遇するのが、相続が「争続」になって非常に困っておられる方が多いことでした。実際、相続のことを「どこで何を相談したらいいのか?」「事前に何を対策すればよいのか?」相談先が見当たらず何も準備がなされていないお声も入ってきました。このような問題の解決をサポートしていくことが私たちの使命であり、且つ、お客様や地域の皆様のお役に立ちたい想いで、相続のコンサルタント専門部隊「一般社団法人 SAGA 相続センター」を 3 年前に立ち上げました。

「専門用語を使わない相続セミナー」と銘打ち、

- ・遺言書
- ・任意後見制度
- ・相続税

などの内容につきまして、参加費無料のセミナーが開催可能です。



地域等と協力して行いたい活動

より多くの方に、相続についてのセミナーを聞いて頂きたいと考えております。

公民館での地域の方向けの開催によって、空き家問題の対策にも繋がります。また、各法人や企業で働いておられる社員の方々対象にも開催が可能です。



連絡先

TAJIMA 株式会社 TEL : 0952-23-3281（フリーダイヤル : 0120-530-881）

担当 : 雪竹 携帯 : 080-6859-5216

株式会社ミズ

企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

地域の方々の健康を応援！

健康講座 各種開催

漢方ワークショップ



地域公民館で人気の漢方WS★
普段なかなか触れることのない生薬を使って、手先と五感をフル活用し、オリジナルのお屠蘇や入浴剤をハンドメイドします。
講師：漢方みず堂 漢方相談員

料理教室



認知症・介護予防、減塩などのテーマに沿って開催していて、料理だけでなく知って得する栄養情報も満載！ミズ管理栄養士オリジナルレシピも配布しています。
講師：株式会社ミズ 管理栄養士

健康運動講座



座学で体や健康についての知識を学び、実践で楽しく楽しく体を動かします！下肢筋力測定も行い、今の体の状態も知ることができるので、運動継続の意識づけに繋がります。
講師：株式会社ミズ 健康運動指導士

◆講座 講師料

90分/回 ¥10,000～

※講座内容によって別途材料費がかかる場合がございます。

ミズでは、地域の方々の健康を応援すべく多彩な講座を開催しております。

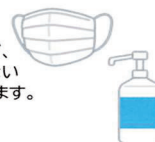
地域の方々の暮らしに寄り添います

暮らしサポート事業

調剤薬局事業のみならず、包括的な生活支援を通じて、皆様のお役に立つ企業を目指しています。

◆新型コロナウイルス感染症対策

—マスク・消毒液・サーモカメラなど、新型コロナウイルス対策に欠かせない物品を、安心とともにお届け致します。



◆自然災害に備える

—今や、いつ・どこで・誰が自然災害に遭ってもおかしくない世の中です。
『備えあれば憂いなし』
災害用保存食の納品も行っています。



◆その他、『困った…』を解決します

—「この商品欲しいんだけど、どこにあるのかな…」どこにも置いてないと言われて困った…という時は、ぜひミズに一度ご相談ください！
各種生活用品を多数取り揃えております。



地域等と協力して行いたい活動

地域の方々とともに、佐賀県を健康長寿日本一に！

鎌田實の『がんばらない健康長寿実践塾』

ミズでは、長野県諏訪中央病院の名誉院長であられる鎌田實先生とともに、佐賀県を健康長寿日本一にすべく、『がんばらない健康長寿実践塾』を実施しております。鎌田塾での活動を派生させて、ミズでは以下のような取り組みを通じて、地域の方々とともに、佐賀県健康長寿日本一を目指しています。

◆野菜を1日350g摂取しよう！



佐賀県は350gの目標値に対し、全世代で約 50～160g(H28 国民健康・栄養調査)の野菜が不足している状況です。

◆たんぱく質を意識して摂ろう！



元気で健康な体の作るポイント①はたんぱく質摂取！筋肉に限らず、肌や血液の材料になる欠かせない栄養素です。

◆『貯筋』活動をしよう！



『貯金』も大切ですが、『貯筋』も同じように大切です！何歳になっても自分の足で歩いて温泉旅行に行ける体を目指したいですね！

ベジチェック

ミズ・溝上薬局エスプラッツ店にベジチェック(野菜摂取量を測定することができる機器)を設置しております。どなたでも簡単にご自身の野菜摂取量を知ることができ、管理栄養士による栄養相談も実施中です。

鎌田先生×漢方みず堂

『こまめにたんぱく』

たんぱく質摂取補助食品を開発しました。他の商品には類を見ない、だし風味の商品ですので、日頃のお料理の中で手軽に活用して頂けます。



速遅歩き

速遅歩きとは、速歩きと遅歩きを交互に繰り返す、高負荷と低負荷の運動を交互に行うことで、効率的に心肺機能を高めることができます！
「運動する時間がまとめでとれない…」という忙しい方にもおすすめの運動です。

連絡先

株式会社ミズ【本社】
〒840-0054
佐賀市水ヶ江1丁目1番11号
TEL 0952-22-7974
FAX 0952-22-7950

明治安田生命 佐賀支社

企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

明治安田生命佐賀支社では『ひとに健康を、まちに元気を』スローガンに
二大プロジェクトを展開しています。

＜みんなの健活プロジェクト＞ 健康をいっしょに育てよう

もしもの時の保障だけでなく、日常の運動機会の提供から
病気の早期発見・進行予防まで人生 100 年時代の健康
づくりのため各種健康セミナー、ウォーキングイベント等
開催し健康づくりをサポートしています。



サッカー教室・ゴルフ教室

＜地元の元気プロジェクト＞ 今日誰かとつながる地域社会を

地元がいつまでも活気あふれる場所であるように

ひとに、職場に、まちに『つながり』を提供し、継続的な発展をサポートします。

現代ではコミュニケーションが多様化する一方で地域社会において人と人とのつながりの
希薄化が心配されています。明治安田生命では自治体、公民館、道の駅などの地域と連携した
取組やスポーツの応援を通じて、地域のみなさま同士が安心してつながる機会を提供し
地域のみなさまとの交流を助け、深めてまいります。

地域等と協力して行いたい活動

現在、明治安田生命は佐賀市様と健康増進・子育て・介護認知症の三分野で

『健康増進に関する包括連携協定』

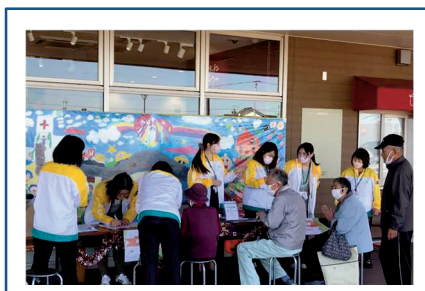
を結ばさせていただきました。

当社の MY リンクコーディネーターが佐賀市内の一人おひとりのニーズにあわせた

『行政サービス』

をご案内しています。みなさまの興味があること、
お困りごとがあれば教えてください。

また、当社では佐賀市内全域の公民館、道の駅と連携し
各種イベント（Jリーグウォーキング・サッカー教室・
血管年齢測定会）や『睡眠と健康の知恵袋』『認知症予防』
『人生 100 年時代を生きる』等の様々な講座も開催して
おりますので、今後も定期的に開催し貢献していきたいと
思っています。



血管年齢測定会開催

連絡先

明治安田生命 佐賀北営業所
〒840-0816 佐賀県佐賀市駅南本町3-15
明治安田生命佐賀ビル7F
TEL (0952) 26-8165
FAX (0952) 22-1670

リコージャパン(株)佐賀支社

企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

リコージャパンは、SDGs を経営の中心に据え、事業活動を通じた社会課題解決を目指しています。新しい生活様式や働き方に対応したデジタルサービスを提供することで、お客様の経営課題の解決や企業価値の向上に貢献していきます。

あなたのまちにも! リコージャパン

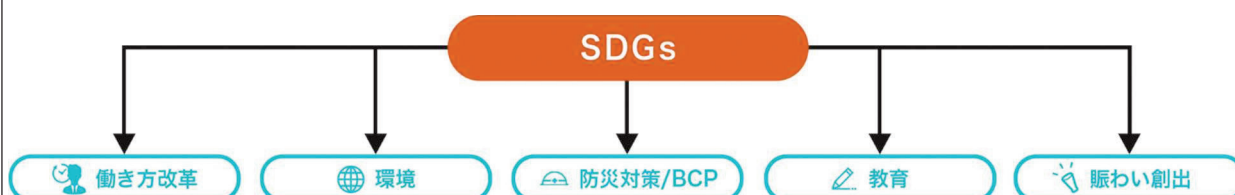
私たちリコージャパンは、すべての都道府県に拠点を持ち、全国の地域と一緒に働く仲間たちがいます。生まれ育ったまちで働く社員も多く、愛する地元のため、地域活性化のため、地域に密着してお客様に寄り添い、日々活動しています。

「あなたのまちにも！リコージャパン」

これからも地域のお客様に安心してご相談いただける会社であることが我々の想いです。

地域等と協力して行いたい活動

私たちは、全国に拠点を持つ強みを活かし、地域の皆様と共にオフィス課題の解決にとどまらず、社会課題の解決に挑戦してまいります。



地域社会の SDGs 達成へ向けて「働き方改革」「環境」「防災対策/BCP」3つの領域を中心に、業務生産性の向上や働き方改革、地球温暖化対策、国土強靱化など、地域社会が抱えるさまざまな課題の解決にお役立ちしてまいります。

連絡先

リコージャパン株式会社佐賀事業所（佐賀支社）
〒849-0912 佐賀県佐賀市兵庫町瓦町四本松 1082
TEL：0952-24-0261
FAX：0952-26-5694
担当：有吉
Kazutaka_ariyoshi@jp.ricoh.com

活 動 の 紹 介

大 学

大
学



佐賀女子短期大学

大学・企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

佐賀女子短期大学は2023年に創立67年（学園創立からは127年）を迎えます。現在は、こども未来学科、地域みらい学科の2学科7コースで、地域に根ざす専門人材育成のための教育を展開しています。

こども未来学科：こども保育コース・こども教育コース・こども養護コース

地域みらい学科：韓国語文化コース・グローバル共生ITコース・司書アーカイブズコース
福祉とソーシャルケアコース

佐賀県内唯一の女子の高等教育機関として、現代社会を突破していく力を身につける教育に力をいれており、地域に根づく専門職人材（保育士・幼稚園教諭・小学校教諭・養護教諭・介護福祉士・司書など）の養成、さらにはこれからのグローバル社会に対応する力を身につけるため、英語や韓国語等の語学を学ぶコースがあり、留学を経験する学生が多くいます。また、多くの国からの留学生も受け入れており、学内もグローバルです。



地域等と協力して行いたい活動

佐賀女子短期大学では、地域の方と一緒に活動することで、学生の学びを深める授業などを展開しています。地域の方の抱える課題や要望を学生が一緒になって学べる機会を増やしていきたいと思っています。社会の現状を学生が身を持って体験し、理解できる機会を求めています。また、短大のもつ様々な



資源を社会の課題解決に役立てていきたいと思っています。

様々な団体や自治体等から学生ボランティア等の協力依頼を受けても、実習や補講等で期待に添えない場合もあり、心苦しいこともあります。学生は授業が中心となる部分だけ、ご理解いただければ幸いです。

連絡先

佐賀女子短期大学

0952-23-5145（代表） e-mail: renkei@asahigakuen.ac.jp（社会連携推進室）

<http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/>

国立大学法人 佐賀大学

企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

佐賀大学は教育学部、芸術地域デザイン学部、経済学部、医学部、理工学部、及び農学部の 6 学部を保有し、学生数は約 6,600 名（学部約 5,800 名、大学院約 800 名、2022 年）です。

本庄キャンパス、鍋島キャンパス、有田キャンパスの他、佐賀県内に唐津市、伊万里市、鳥栖市等にも関連施設を保有しています。

世界に誇れる研究として代表的なものは、さがんルビー（グレープフルーツの一種）を始めとするミカン亜科植物や高オレイン酸大豆等の植物遺伝子資源、究極の半導体と呼ばれるダイヤモンド半導体、海洋温度差発電、全国ランキング 1 位の実績を持つ人工股関節置換術等に係る研究が挙げられます。また、地域と密接に連携した研究では、鹿島市における伝統的街並みや集落調査等を地域活性化に繋げる研究を実施し、同市の内閣総理大臣賞受賞に貢献いたしました。

地域自治体や企業との更なる連携促進を図るため、昨年9月には本庄キャンパス北端側の旧サークル棟を改装し、新しく産学交流プラザ（右写真）が開館しました。当プラザには、企業や自治体との主たる連携窓口となるリージョナル・イノベーションセンターの他、佐賀大学発ベンチャーを支援するためのインキュベーション・ルーム、共同研究契約の手続き等の事務処理を行う社会連携課、及び外部資金申請支援等を行う研究推進課等が一堂に入居しており、地域の自治体や企業、各種団体等との連携に関する実務をワン・ストップで実施できる体制を整備しました。

また、当プラザには最新の研究成果や佐賀大学の沿革を分かりやすくご紹介するインフォメーション・コーナーも併設しています。地域の皆様のご来訪をお待ちしています。



産学交流プラザ外観

（本庄キャンパス・
県道 54 号線側から）

地域等と協力して行いたい活動

本学では地域自治体や企業等の様々な課題解決に資する研究を推進しております。技術相談やお問い合わせを契機として、課題の分析を行い、該当する専門性を持った教員との研究体制構築を検討します。

ここで、地域や企業との連携の形態については、必ずしも本格的な共同研究契約ばかりでなく、ニーズや開発のフェーズに応じて最適な連携の体制が組める様に、複数の連携制度を整備しています。

具体的には、教員の専門的知見に基づいて研究開発上の助言等を行うことを主とした「学術コンサルティング」、研究活動を共同で行う「共同研究」、企業等の課題に係る研究を大学側で実施する「受託研究」、企業の研究者が特任教員として大学に常駐し研究を実施する「共同研究講座」等があります。これらの制度については本学ブースに掲示予定のポスターにて詳細なご紹介を行いますので、現在何らかの課題があり、本学との連携を検討されている場合は、ブースにてお問い合わせ下さい。



共同研究打合せの様子

（研究期間や試験内容
研究費等について協議）

連絡先

佐賀大学リージョナル・イノベーションセンター
〒840-8502

佐賀市本庄町 1 番地 産学交流プラザ 101 号室

TEL : 0952-28-8718/FAX : 0952-28-8186

E-mail : suric@ml.cc.saga-u.ac.jp

西九州大学・西九州大学短期大学部

企業やNPO等の得意なこと（活動内容など）

西九州大学・西九州大学短期大学部は健康スポーツ・栄養・社会福祉・リハビリテーション・教育等を学ぶ学科・コースで構成されており、それぞれの専門性を活かした地域支援活動を実施しています。これまでに地域で実施した取り組み事例は以下のとおりです。

- ・健康チェック、脳トレ体験
- ・スポーツレクリエーション
- ・子ども向け体験ワークショップ
- ・異文化コミュニケーション
- ・サロン活動
- ・親子いきいき広場
- ・放課後児童クラブ
- ・その他



また、西九州大学グループ附属『健康福祉・生涯学習センター』では地域の高齢者に学習の場を提供しており、大学教員の授業、大学生・短期大学生との交流活動を行っています。

地域等と協力して行いたい活動



- ・子育て支援に関する啓蒙活動
- ・SDGs 推進のための実践活動
- ・企業や自治体からの受託研究
- ・多文化共生に向けた協議、異文化理解
- ・多言語・多文化紹介活動を通じた異文化交流
- ・健康、栄養、社会福祉、リハビリテーション、子ども教育等に関する教育・研究活動

連絡先

西九州大学(代表) TEL : 0952-52-4191

西九州大学短期大学部(代表) TEL : 0952-31-3001

ご自由にお書きください

[illegible]

ご自由にお書きください

[illegible]

ここからはじまる「人と人がつながる」コミュニティ

つながる
さがし



<https://tsunasaga.jp/>

つながるさがし

検索

佐賀市 地域振興部 協働推進課・公民館支援課

〒840-0826 佐賀市白山 2 丁目 1-12 佐賀商エビル 7F

T E L	協働推進課	市民活動推進係	0952-40-7078
		地域コミュニティ室	0952-40-7039
	公民館支援課	公民館支援係	0952-40-7370
		施設整備係	0952-40-7366
F A X	0952-40-7385		
E-Mail	協働推進課	kyodo@city.saga.lg.jp	
	公民館支援課	kominkan@city.saga.lg.jp	
H P	http://www.city.saga.lg.jp		